

港区教育史編さんの経過

1 これまでの港区教育史編さんの経緯

(1) 「港区教育史（上・下巻）」（昭和62年2月28日発行）

昭和49年度に教育センターに「教育史研究室」が設置され、課題を設けた調査・研究が進められてきました。また、旧三区史や港区史、新修港区史などにも教育に関する記録がありました。これらを集大成する必要があるとの声が高まり、昭和57年に「港区教育史編さん委員会」が組織され、約5年の歳月をかけて昭和62年2月に「港区教育史（上・下巻）」を発刊しました。

【構成】

明治初期～昭和60年までの通史

(2) 「港区教育史（資料編一・二巻）」（平成9年9月30日発行）

昭和62年2月に発刊した教育史の編さん過程で、教育史的に見て貴重な資料が数多くありましたが、ページ数等制約から割愛せざるを得ませんでした。そのためこれらの資料を生かすために、「資料編」を作成すべきとの関係者からの強い要望がありました。そこで、平成4年4月から5年をかけて平成9年9月に「港区教育史資料編」を発刊しました（平成9年は港区政50周年にあたる年でした）。

【構成】

資料編1…教育分野別

資料編2…上下巻を一部補足する形で、明治初期～平成7年までの通史

2 新たな港区教育史編さんの目的について

前回の港区教育史資料編の編さんから平成28年度で19年が経過しました。平成29年3月に港区政70周年を迎えるのを契機として、過去を振り返り、これまで積み重ねてきた港区の教育行政の歴史を記録し、後世に語り継いでいける港区教育史を編さんしていきます。

編さんした教育史はデジタルアーカイブ化を行い、WEB上で区民がいつでも情報を見ることができるようになります。

また、同じく港区史についても今年度から新たに港区史の編さんを開始しており、両方で連携を図りながら編さんを行っていきます。